

町なかがん患者サロン 平成 26 年度活動計画

1 これまでの経過

平成 24 年 7 月に開所し、500 人を超える患者・家族が利用している。利用者の多くは、これまで患者会や相談窓口につながることのなかった人で、不安や悩みを抱える人の新たな受け皿としての機能を果たしつつあると感じている。

2 課題

利用者の大半が中予地域、特に松山在住。東・南予地方の住民への対応をどうするかが課題で、特にがん診療連携拠点病院が 1 か所しかない南予地方への対応が必要と考える。

3 展開

大洲地域で実施されている「在宅緩和ケア推進モデル事業」と連携する形で、医療機関等に開催場所を借りて「出張町なかサロン」を実施したい。地域の患者・家族を対象に、2～3 か月に 1 回程度の割合で開催。また「モデル事業」対象事例で、遺族となった家族を対象にした「遺族会」についても検討したい。さらに八幡浜地域での「モデル事業」とも、将来的には連携したいと考える。

4 体制

活動範囲を拡大するにあたって、ピアサポーターの確保、質の向上のための研修などを行う拠点が必要。このため、松山市の「町なかサロン」を拠点として、今後の展開への取り組みを実施する。